

平成19年全国物価統計調査結果

【 調査の概要 】

1 調査の目的

国民の消費生活において重要な支出の対象となる商品の販売価格及びサービスの料金並びにこれらを取り扱う店舗の業態や経営形態など価格決定に関する様々な要素を幅広く調査し、物価の店舗間格差、銘柄間格差、地域間格差など価格差の実態を解明し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の根拠

全国物価統計調査規則（昭和57年総理府令第33号）に基づき実施される指定統計調査（指定統計第108号）。

3 調査の期日

平成19年11月21日（水）現在。

4 調査の対象

（1）調査市町村

全国673市町村（人口10万以上のすべての市、10万未満の市及び町村については抽出）。
岐阜県は岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、各務原市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、海津市、池田町、北方町、御嵩町の計13市3町。

（2）調査店舗

ア 調査員による調査

小売店舗を対象とする。売場面積、産業分類及び店舗の業態により区分し、それぞれの区分の中から全国で約13万店舗を選定し調査した。岐阜県は、別表1のとおり。

別表1 市町村別調査対象店舗数（本社一括調査分は除く）

調査市町村	大規模店舗	小規模店舗	計
岐阜市	43	490	533
大垣市	17	267	284
高山市	17	180	197
多治見市	13	176	189
関市	7	175	182
中津川市	6	178	184
美濃市	2	45	47
瑞浪市	2	90	92
各務原市	13	176	189
瑞穂市	7	89	96
飛騨市	1	88	89
本巣市	9	83	92
海津市	6	90	96
池田町	5	44	49
北方町	1	43	44
御嵩町	1	45	46
計	150	2259	2409

イ 市町村による調査

飲食店やサービス業を営む事業所（約4万店舗）を対象とし、市町村が調査した。

ウ 総務省による調査

広域地域でサービスを提供する企業や、通信販売を行っている企業を対象し、総務省が調査した。

5 調査事項

(1) 価格・料金に関する事項及び調査対象に関する事項

ア 調査員による調査

価格（店頭販売、店舗独自の通信販売）、店舗の名称、業態、従業者数等、経営に関する事項、割引・特典サービスの有無、通信販売の有無、主な商品の仕入先

イ 市町村による調査

料金（店舗（事業所）における販売）、事業所の名称及び電話番号

ウ 総務省による調査

価格又は料金（店舗（事業所）における販売、通信販売）、企業（事業所）の名称、電話番号、従業者数等、通信販売の内容及び割引・特典サービスの有無

(2) 調査品目

ア 調査員による調査品目 141品目

イ 市町村による調査品目 34品目

ウ 総務省による調査品目 29品目（うち24品目は調査員による調査品目と共通）

6 調査の流れ

(1) 調査員による調査

総務大臣 - 都道府県知事 - 市町村長 - 統計調査員（指導員） - 統計調査員（調査員） - 調査店舗

(2) 市町村による調査

総務大臣 - 都道府県知事 - 市町村長 - 調査店舗（事業所）

(3) 総務省による調査

総務大臣 - 調査企業等

7 調査結果の内容

ここに掲載する調査結果は、総務省統計局が公表した「平成19年全国物価統計調査結果」の全国物価地域差指数編、店舗価格編から岐阜県分の結果を引用し、分析を加えたものである。

8 全国物価地域差指数の作成方法

(1) 指数の性格

全国物価地域差指数は、世帯が購入する各種の財及びサービスの価格を総合した物価水準の地域間の差を指数値で示したものである。

指数はフィッシャー類似算式を用いて作成している（詳細は総務省統計局ホームページ「全国物価地域差指数の作成方法」を参照）。

指数算定に用いた品目別ウエイトは、家計調査（農林漁家世帯を含む二人以上の世帯の平成19年平均・品目分類）の1世帯あたりの消費支出金額に基づき算定したものである。

(2) 価格資料

指数計算には、平成19年全国物価統計調査で調査した価格（180品目〔337銘柄〕、通信販売価格は除く。）のほか、小売物価統計調査の平成19年11月の結果（42品目〔50銘柄〕）及び平成15年住宅・土地統計調査の結果（2品目〔3銘柄〕）を用いた。

(3) 寄与度

物価水準全体（総合指数）に対して、各内訳項目がどれだけ影響したかを示したものである。

9 店舗価格の平均価格

店舗価格の集計における平均価格は、調査価格の単純平均である。

10 用語の解説

(1) 価格

ア 価格調査票により調査した価格

小売店舗における通常の販売価格の実態を明らかにするため、価格調査票により、標準小売価格や定価ではなく、実際に消費者に販売する価格を調査した。タイムサービス、まとめ売り、会員割引価格などの特別な価格や割賦販売価格等は対象外とした。

新品の商品の価格を対象とし、中古品の価格は対象外とした。

調査対象として規定された内容に合致する商品が複数ある場合は、最も販売数量の多い商品の価格を調査した。

調査日が休業日の場合は、前日の価格を調査した。また、調査日の価格が1週間以内の短期間の特売価格の場合は、特売を開始する直前の通常の販売価格を調査した。

イ 週間価格調査票により調査した価格

調査品目のうち20品目については、価格調査票のほかに週間価格調査票により、特売の状況や曜日別の価格の動きを把握するため、一部の小売店舗において「平成19年11月15日(木曜日)から21日(水曜日)の日々の価格」及び「過去1か月間のうち最も安い価格」を調査した。

ウ 特売価格・通常価格

週間価格調査票により調査した価格に変化があった小売店舗のみを対象とした価格である。小売店舗ごとに、週間価格調査票により調査した価格のうち、それぞれの品目の最も安い価格を特売価格とし、最も高い価格を通常価格とした。

(2) 業態

一般小売店	商店街や駅前、ロードサイド、商業ビル内等で営業する専門店・個人商店などで、「スーパー」～「生協」に該当しないもの。弁当販売店、ガソリンスタンド等も含める。
スーパー	食品、家事雑貨を中心にセルフサービス方式で販売している店舗。いわゆる総合スーパー、均一価格で多様な商品を販売する小売店(ワンプライスショップ)も含める。
量販専門店	主に家電、住関連用品、衣料、がん具、スポーツ用品などを取り扱い、薄利多売を営業方針としている店舗。いわゆるホームセンターも含める。
ドラッグストア	セルフサービス方式で販売し、主な商品として医薬品と化粧品を取り扱う店舗。医薬品、化粧品以外に、家庭用品、食品、文房具等の日用雑貨も販売している店舗も含める。
コンビニエンスストア	販売商品のほとんどをセルフサービス方式で販売し、食品、家事雑貨、雑誌などの日用品を取りそろえ、店舗の規模が小さく(売場面積が30～250平方メートル)、終日又は長時間(14時間以上)営業を行う店舗
百貨店	販売商品が衣・食・住全般にわたり、主に対面販売により販売している店舗
生協	生活協同組合が運営する店舗。農業協同組合が運営する店舗(Aコープを含む)は、その業態により、スーパー又は一般小売店などに属する。
その他	官公庁、学校、企業などの構内にある売店など、上記の業態のいずれにも該当しない店舗

(3) 割引・特典

会員割引価格	その場で会員になることができ、割引価格が適用される場合
価格割引クーポン	不特定多数を対象としたチラシ、雑誌、商品等に付いているクーポン、インターネットや携帯電話等で表示できるもの
ポイント制	店舗での購入金額、購入回数等に応じてポイントを付与し、たまったポイント数に応じて、商品の購入や割引、景品、他ポイントとの交換が可能なもの
スタンプカード	購入金額等に応じて、あるいは買物袋持参やリサイクル協力等によりスタンプ、シール、カードを付与し、たまったスタンプ等により現金、金券、景品、割引などに換えることができるもの
その他	上記のどれにも当てはまらないサービス

(4) 集計銘柄一覧(「調査の結果の概要」に掲載した品目のみ抜粋)

結果表上の表章		規 格 ・ 商 標
即席めん	指定商標 A	「カップヌードル 醤油味」(日清食品), 77g
まぐろ缶詰(1缶)	指定商標 A	「はごろもシーチキンLフレーク」(はごろもフーズ), P4号缶80g
ハム	100g	ロースハム, JAS規格, 上級, (量り売りを含む)
納豆(45g×3個組)		糸ひき納豆, 丸大豆納豆, 小粒又は極小粒, 発泡スチロール製容器入り, (ひきわり, 有機栽培大豆・国産大豆・黒豆使用を除く)
ヨーグルト(500g)	指定商標 A	「明治ブルガリアヨーグルト L B 81」(明治乳業)プレーンタイプ, 500g
ポテトチップス(100g当たり)	指定商標 A	「カルビーポテトチップス」(カルビー), 生ポテトチップス, 65~110g
チョコレート	指定商標 A	「明治 ミルクチョコレート」(明治製菓), 70g
アイスクリーム	指定商標 A	「ハーゲンダッツ バニラ」(ハーゲンダッツジャパン), 120ml
インスタントコーヒー	指定商標 A	「ネスカフェ ゴールドブレンド」(ネスレ日本)瓶入り, 100g
炭酸飲料	指定商標 A	「コカ・コーラ」(日本コカ・コーラ)ペットボトル入り 500ml
ミネラルウォーター(1本)	指定商標 A	「サントリー天然水」(サントリー)ペットボトル入り 2000ml
ビール(1缶)	指定商標 A	「アサヒ スーパードライ」(アサヒ)缶入り, 350ml
発泡酒(1缶)	指定商標 B	「麒麟 淡麗 生」(麒麟)缶入り, 350ml
食パン		角型, 白食パン
塩さけ	100g	切り身, 100g当りの価格に換算。
牛肉(ロース)100g	国産品	ロース(ステーキ用及び切り落としは除く), 国産品(松坂牛, 近江牛, 神戸牛などは除く)
豚肉(もも肉)100g		もも肉, 国産品(黒豚及び切り落としは除く)
牛乳		【種類別】牛乳, 紙容器入り 1000ml (低温殺菌牛乳及び常温保存可能品の牛乳を除く)
鶏卵(10個入り, Mサイズ)		白色卵, 10個入り, Mサイズ
食用油(1500g)		サラダ油 [食用調合油], ポリ容器入り(キャノーラ油を除く), 1500g
しょう油		本醸造, こいくちしょう油, JAS規格品, 特級, ポリ容器入り, 1L
液体調味料(400g)		「エバラ 焼肉のたれ黄金の味」(エバラ食品), 瓶入り 400g, 中辛
茶飲料(2000ml)	指定商標 B	「お~いお茶」(伊藤園), ペットボトル入り, 2000ml
ビール(1箱, 24缶)	指定商標 A	「アサヒ スーパードライ」(アサヒ), 缶入り, 350ml
トイレットペーパー(再生紙, 12ロール)		【シングル】55m又は60m・【2枚重ね27.5m又は30m】のいずれか, 再生紙, 12ロール
台所用洗剤	指定商標 A	「まな板とスポンジの除菌ができるジヨイ」(P&G), 合成洗剤, 食器用, 液体, 詰替用, ポリ容器入り, 400ml
洗濯用洗剤	指定商標 A	「アタック」(花王), 合成洗剤, 綿・麻・合成繊維用, 粉末・箱入り, 1.1kg
ラップ	指定商標 A	「サランラップ」(旭化成ホームプロダクツ), ポリ塩化ビニリデン製, 幅30cm・長さ20m

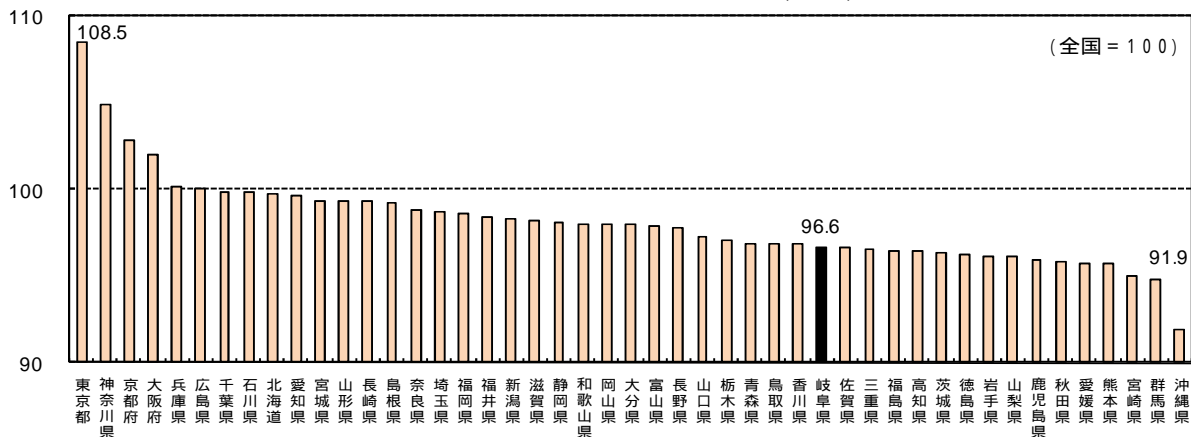
【 調査の結果の概要 】

1 全国物価地域差指数

(1) 総合指数

都道府県別に総合指数で物価水準(全国 = 100)をみると、岐阜県は96.6で、全国順位は32位となっている。(図 1)

図 1 都道府県別全国物価地域差指数(総合)



(2) 大分類別指数及び寄与度

総合指数が全国平均より低い要因を大分類別に寄与度でみると、「住居」(0.97 ポイント)が最も大きな要因となっており、次いで「食料」(0.76 ポイント)、「交通・通信」(0.49 ポイント)、被服及び履物(0.43 ポイント)となっている。(表 1)

表 1 岐阜県の大分類別全国物価地域差指数及び寄与度(全国=100)

	総合	大 分 類 別									
		食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	96.6	97.4	84.9	97.5	97.3	92.2	99.6	97.0	98.0	98.4	98.9
寄与度	3.36	0.76	0.97	0.20	0.10	0.43	0.02	0.49	0.09	0.20	0.09

(3) 財・サービス分類別指数及び寄与度

総合指数が全国平均より低い要因を財・サービス分類別に寄与度でみると、「財」が「サービス」より0.2ポイント大きくなっている。

「財」の内訳別寄与度では、「工業製品」(1.27 ポイント)が大きく、また「サービス」の内訳別寄与度では、「民営家賃」(0.87 ポイント)が大きくなっている。(表 2)

表 2 岐阜県の財・サービス分類別全国物価地域差指数(全国 = 100)

	総合	財						サービス				
		財	農水畜産物	工業製品	電気・都市ガス・水道	出版物	サービス	公共サービス	一般サービス	外食	民営家賃	他のサービス
指数	96.6	96.9	95.7	96.9	98.0	97.4	96.4	99.9	93.9	97.8	72.2	96.6
寄与度	3.36	1.78	0.36	1.27	0.11	0.05	1.58	0.01	1.56	0.15	0.87	0.55

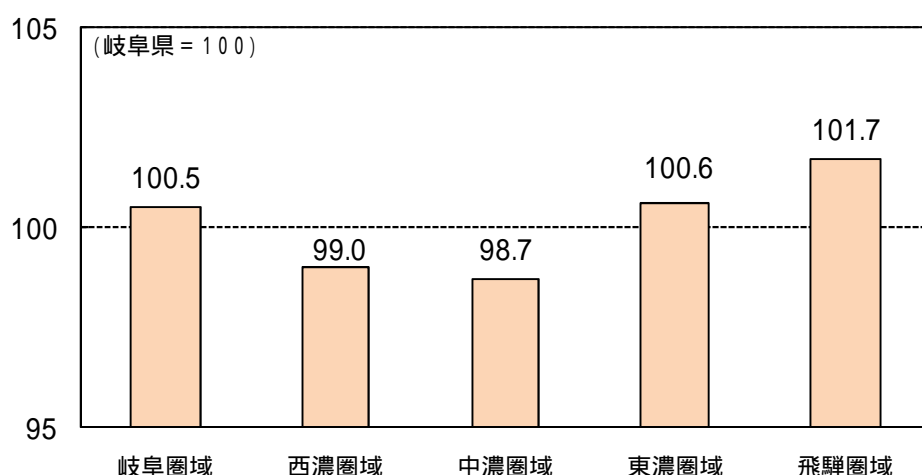
(4) 県内 5 圏域別

ア 総合指数

圏域別に総合指数で物価水準(岐阜県 = 100)をみると、飛騨圏域が101.7で最も高く、次いで東濃圏域100.6、岐阜圏域100.5、西濃圏域99.0、中濃圏域98.7となっている。

(図 2)

図2 岐阜県内5圏域別全国物価地域差指数(総合)



イ 大分類別指数

圏域の物価水準(岐阜県=100)を大分類別で比較すると、岐阜圏域では、教育(105.8)と家具・家事用品(102.0)など5項目が5圏域の中で最も高い。

西濃圏域では、諸雑費(97.8)など3項目が5圏域の中で最も低い。

中濃圏域では、光熱・水道(96.5)など4項目が5圏域の中で最も低い。

東濃圏域では、光熱・水道(105.7)が5圏域の中で最も高く、被服及び履物(95.1)が最も低い。

飛騨圏域では、被服及び履物(121.7)など4項目が5圏域の中で最も高く、家具・家事用品(90.3)など2項目が最も低い。

(表3)

表3 岐阜県内5圏域の大分類別全国物価地域差指数(岐阜県=100)

	岐阜県	岐阜圏域	西濃圏域	中濃圏域	東濃圏域	飛騨圏域
総合	100.0	100.5	99.0	98.7	100.6	101.7
食料	100.0	100.0	98.1	99.9	101.2	102.2
住居	100.0	101.8	99.7	97.5	98.8	101.1
光熱・水道	100.0	97.1	104.2	96.5	105.7	102.1
家具・家事用品	100.0	102.0	100.5	101.2	99.2	90.3
被服及び履物	100.0	99.5	99.7	97.4	95.1	121.7
保健医療	100.0	101.2	98.8	97.8	100.8	100.3
交通・通信	100.0	101.6	98.4	98.1	100.5	99.6
教育	100.0	105.8	99.5	93.4	98.1	93.1
教養娯楽	100.0	99.9	98.0	100.5	100.9	102.0
諸雑費	100.0	100.4	97.8	99.9	100.1	103.9
生鮮食品を除く総合	100.0	100.6	99.0	98.6	100.5	101.8
家賃を除く総合	100.0	100.4	98.9	98.9	100.7	101.6
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	100.0	100.9	99.3	98.0	100.2	101.5

(注) 大分類ごとの指数の最大値と最小値に網掛けをしている。 は最大値、 は最小値を示す。

2 店舗価格

(1) 業態別による価格差

食料工業製品について売場面積(450㎡未満、450㎡以上)、業態別の価格水準をみると、規模が小さい(450㎡未満)一般小売店やコンビニエンスストアでは、小売店舗全体の平均価格に比べ高い品目が多く見られる。(図3、表4)

図3 岐阜県の業態別価格水準(小売店舗全体の平均価格 = 100)

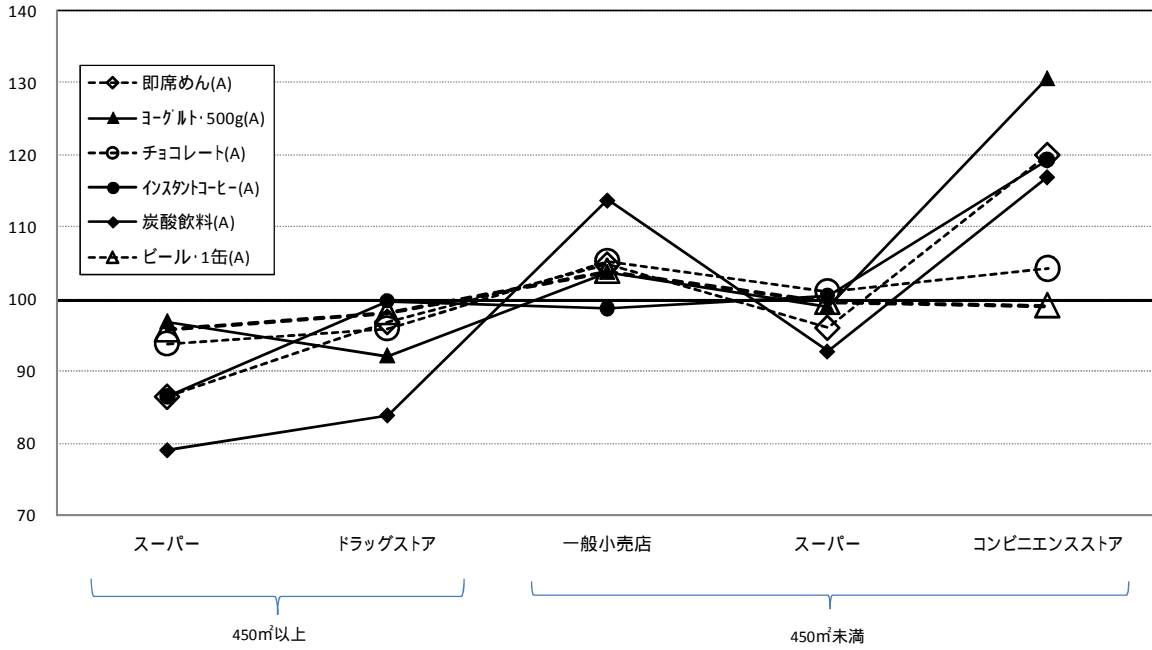


表4 岐阜県の売場面積階級、業態別価格数、平均価格及び価格比

品目 (大企業性食料工業製品)	売場面積450㎡以上						売場面積450㎡未満								
	スーパー			ドラッグストア			一般小売店			スーパー			コンビニエンスストア		
	価格数	平均価格 (円)	価格比	価格数	平均価格 (円)	価格比	価格数	平均価格 (円)	価格比	価格数	平均価格 (円)	価格比	価格数	平均価格 (円)	価格比
即席めん(A)	99	108	86.4	26	121	96.8	47	131	104.8	18	120	96.0	65	150	120.0
まぐる缶詰・1缶(A)	58	164	107.2	8	129	84.3	19	133	86.9	10	149	97.4	17	162	105.9
ハム	98	259	94.5	-	-	-	44	261	95.3	21	264	96.4	47	329	120.1
牛乳	100	165	84.6	13	161	82.6	45	234	120.0	20	197	101.0	70	214	109.7
ヨーグルト・500g(A)	98	183	96.8	9	174	92.1	4	196	103.7	17	187	98.9	13	247	130.7
納豆・45g×3個	95	110	97.4	3	118	104.4	23	123	108.9	14	113	100.0	4	135	119.5
食用油・1500g	94	377	92.9	12	389	95.8	44	443	109.1	20	463	114.0	2	431	106.2
しょう油()	98	262	91.9	15	279	97.9	35	335	117.5	19	316	110.9	33	288	101.1
ポテトチップス(A)	97	147	91.9	-	-	-	45	175	109.4	20	157	98.1	72	169	105.6
チョコレート(A)	98	90	93.8	24	92	95.8	43	101	105.2	16	97	101.0	68	100	104.2
アイスクリーム(A)	92	235	95.1	11	229	92.7	6	254	102.8	7	259	104.9	65	263	106.5
インスタントコーヒー(A)	87	558	86.4	18	644	99.7	37	637	98.6	18	649	100.5	58	771	119.4
炭酸飲料(A)	100	98	79.0	28	104	83.9	96	141	113.7	13	115	92.7	73	145	116.9
ミネラルウォーター・1本(A)	95	159	93.0	23	143	83.6	37	193	112.9	8	200	117.0	64	184	107.6
ビール・1缶(A)	85	201	95.7	17	206	98.1	122	218	103.8	10	209	99.5	69	208	99.1
発泡酒・1缶(B)	83	143	97.3	17	142	96.6	113	148	100.7	10	149	101.4	68	152	103.4

(注)価格比 = 売場面積階級、業態別平均価格 ÷ 小売店舗全体の平均価格 × 100

大企業性製品とは、原則として従業員数が300人を越える企業で製造されるものをいい、平成17年消費者物価指数の格付けを用いた。

()内の は、指定した複数のメーカーの商品のうち、各調査店舗において販売数量が多い商品进行调查したことを示す。

(2) 割引・特典サービスの有無別の価格差

割引・特典サービスを導入している店舗数割合は、57.7%となっている。

業態別にみると、ドラッグストアが98.0%と最も高く、次いでコンビニエンスストアが83.8%となっている。

サービスの種類別、業態別にみると、一般小売店ではスタンプカードが22.3%と最も高い割合となっている。スーパー、量販専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアではポイント制が最も高い割合(それぞれ32.6%、45.6%、69.4%、44.6%)となっている。

(表5、図4)

表5 岐阜県の割引・特典サービスの有無、業態別店舗数及び割合

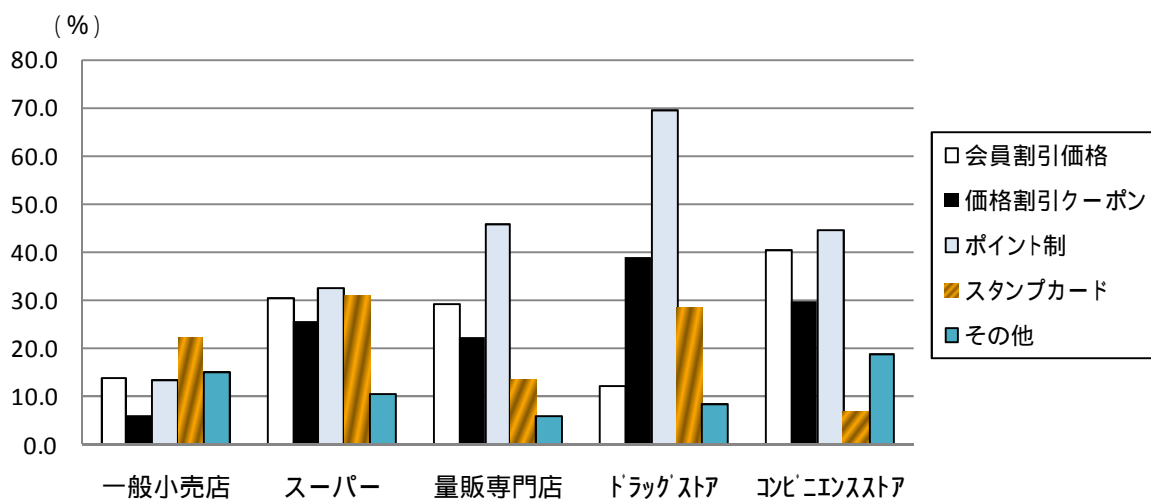
業態	総数	割引・特典サービス有り					割引・特典サービス無し	
		会員割引価格	価格割引クーポン	ポイント制	スタンプカード	その他		
店舗数								
総数	2,099	1,211	348	207	389	462	298	888
一般小売店	1,729	926	241	109	231	386	258	803
スーパー	132	93	40	34	43	41	14	39
量販専門店	103	77	30	23	47	14	6	26
ドラッグストア	49	48	6	19	34	14	4	1
コンビニエンスストア	74	62	30	22	33	5	14	12
割合(%)								
総数	100.0	57.7	16.6	9.9	18.5	22.0	14.2	42.3
一般小売店	100.0	53.6	13.9	6.3	13.4	22.3	14.9	46.4
スーパー	100.0	70.5	30.3	25.8	32.6	31.1	10.6	29.5
量販専門店	100.0	74.8	29.1	22.3	45.6	13.6	5.8	25.2
ドラッグストア	100.0	98.0	12.2	38.8	69.4	28.6	8.2	2.0
コンビニエンスストア	100.0	83.8	40.5	29.7	44.6	6.8	18.9	16.2

(注) 割引・特典サービスは重複回答有り。

割引・特典サービス有りにはサービスの種類不詳を含む。

店舗数及び割合の総数には業態不詳を含む。

図4 岐阜県の割引・特典サービスの種類別店舗数割合



(3) 特売の実施率

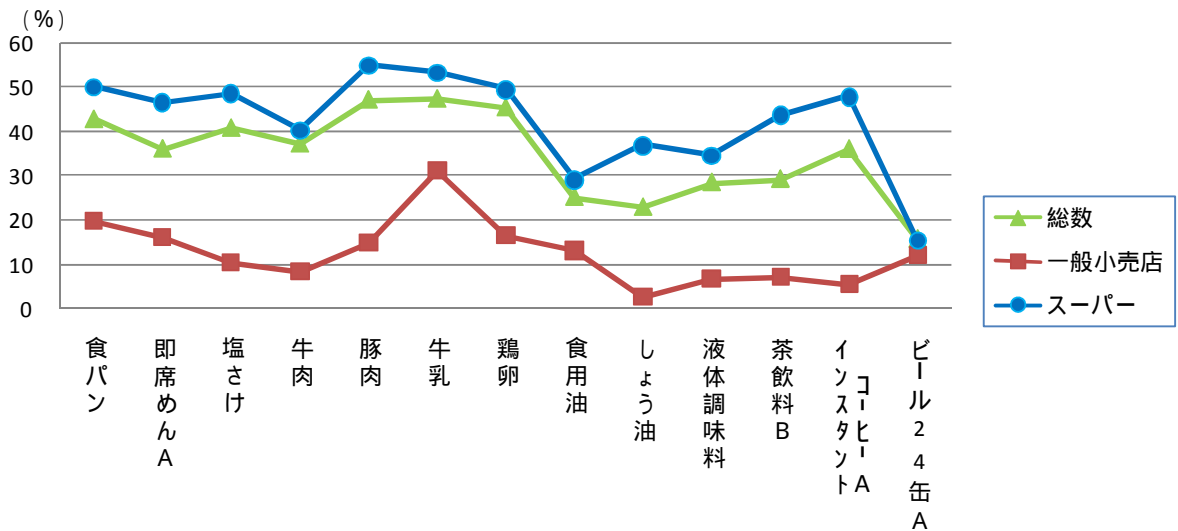
ア 食料品の特売実施率

岐阜県において価格を調査した食料品のうち13品目について、業態別に特売を実施している店舗の割合をみると、スーパーでは「豚肉」(55.0%)、「牛乳」(53.3%)、「食パン」(50.0%)、「鶏卵」(49.6%)などが高くなっている。

一方、一般小売店では「牛乳」(31.3%)、「食パン」(20.0%)などが高くなっているが、スーパーに比べると全体的に特売の実施率は低くなっている。

品目別にみると、「ビール24缶A」は他の食品に比べ業態間にあまり差がみられない。(図5、統計表第4表)

図5 岐阜県の食料品の特売実施率



イ 日用雑貨の特売実施率

岐阜県において価格を調査した日用雑貨のうち4品目について、業態別に特売を実施している店舗の割合をみると、一般小売店では、スーパーに比べ全体的に特売の実施率は低くなっている。

全ての品目で特売実施率は40%未満で、日用雑貨は食料品に比べ実施率が低くなっている。

(図6)

図6 岐阜県の日用雑貨の特売実施率

